

抗 Laminin $\alpha 3$ 抗体、マウスモノクローナル(BM515)

商品コード	70-350
容量	100 μ g
保存	-20°C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマ培養上清から proteinA で精製した
抗原	ウシ角膜 BM 画分
アイソタイプ	マウス IgG1
反応性	ウシ、ヒトと反応する。他の動物種では試験されていない
特記事項	N/A
アプリケーション	1. ウェスタンブロット法(1/2500) 2. 免疫蛍光染色(1/100~1/300) 3. 免疫組織化学、凍結切片(1/200~1/1000)
背景	ラミニンは、高親和性受容体を介して細胞に結合し、他の細胞外マトリックス成分と相互作用することにより、胚発生中の組織への細胞の付着、移動および組織化を媒介すると考えられている。 ラミニン $\alpha 3$ は分子量 367kDa の 3,333 アミノ酸からなる前駆体として合成され、290kDa の成熟型にプロセッシングされる。
Data Link	UniProtKB: Q16787 (LAMA3_HUMAN)
文献	文献 2 にこの抗体を記載し、以下の文献で使用した。 1. Hirako Y et al. Isolation of a hemidesmosome-rich fraction from a human squamous cell carcinoma cell line. Exp Cell Res. 2014 Jun 10;324(2):172-82. PMID: 24726610.WB,IF 2.Uematsu J, et al. Both type-I hemidesmosomes and adherens-type junctions contribute to the cell-substratum adhesion system in myoepithelial cells. Eur J Cell Biol. 2005 Mar;84(2-3):407-15. PMID: 15819417 IHC-Fr (bovine)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 70-350 抗 Laminin $\alpha 3$ 抗体、マウスモノクローナル (BM515)

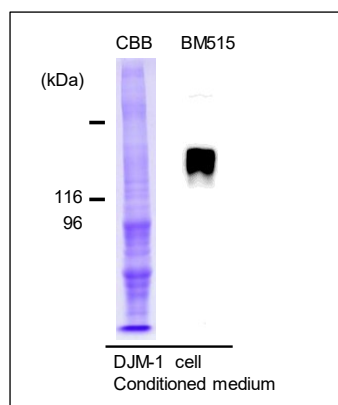


図1 ウェスタンブロット分析

DJM-1 細胞から調製した濃縮馴化培地を BM515 抗体(1:2500 希釈)で免疫プロットした。この抗体はラミニン $\alpha 3$ 鎖のプロセシング型に対する 165 - kDa バンドを検出した。調整培地は硫酸アンモニア沈殿により濃縮した。化学発光検出キット EzWestLumi plus (ATTO、東京、日本)を用いて蛋白質バンドを可視化した。

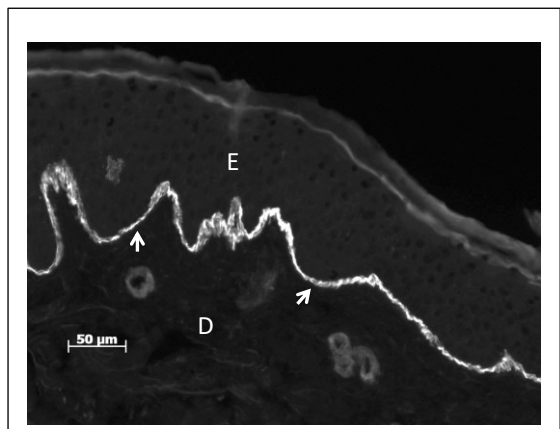


Fig.2.ヒト皮膚におけるラミニン $\alpha 3$ の免疫組織化学的染色

凍結アセトン固定ヒト皮膚切片を BM515 抗体で 1/500 希釈で染色した。抗体は真皮 - 表皮接合部(矢印)におけるラミニン $\alpha 3$ 鎖の位置を明らかにした。E: 表皮、D:真皮。バー; 50 μ m

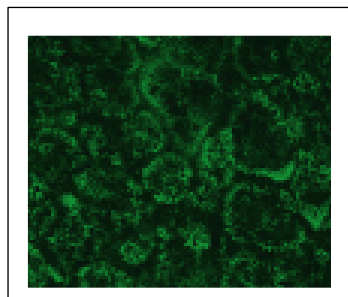


図3 抗ラミニン $\alpha 3$ 抗体による DJM-1 細胞におけるラミニン $\alpha 3$ の免疫蛍光染色

DJM-1 ヒト皮膚扁平上皮癌細胞株である細胞を、KGM (ケラチノサイト基底培地、(Lonza)から Ca^{++} を抜いた)で増殖させ、アセトンで固定し、BM515 モノクローナル抗体 1/200 希釈で染色した。